

製品名: EGFR (L858R変異) (8P17) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10344**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.23mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	134kDa

抗原情報

遺伝子名	EGFR
別名	kinase EGFR; ERBB1; Epidermal growth factor receptor precursor;
遺伝子 ID	1956.0
SwissProt ID	P00533
免疫原	ヒト EGF 受容体の合成ペプチド

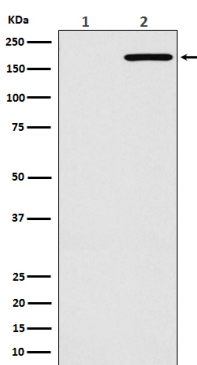
背景

EGFRは受容体型チロシンキナーゼです。上皮成長因子 (EGF) および TGF- α 、アンフィレグリン、ベータセルリン、ヘパリン結合性 EGF 様成長因子、GP30、ワクシニアウイルス成長因子などの関連成長因子の受容体です。細胞の増殖と分化の制御に関与しています。1 回膜貫通型チロシンキナーゼです。この受容体へのリガンド結合は、受容体の二量体化、自己リン酸化 (トランスリン酸化)、様々な下流シグナル分子の活性化、リソソーム分解を引き起こします。受容体型チロシンキナーゼは EGF ファミリーのリガンドに結合し、複数のシグナル伝達カスケードを活性化することで、細胞外シグナルを適切な細胞応答に変換します (PubMed:2790960、PubMed:10805725、PubMed:27153536)。既知のリガンドには、EGF、TGFA/TGF- α 、AREG、エピゲン/EPGN、BTC/ベータセルリン、エプレグリン/EREG、HBEGF/ヘパリン結合 EGF (PubMed:2790960、PubMed:7679104、PubMed:8144591、PubMed:9419975、PubMed:15611079、PubMed:12297049、PubMed:27153536、PubMed:20837704、PubMed:17909029) などがあります。リガンド結合は、受容体のホモ二量体化および/またはヘテロ二量体化と、主要な細胞質残基の自己リン酸化を引き起こします。リン酸化受容体は GRB2 などのアダプタータンパク質をリクルートし、これが下流の複雑なシグナル伝達カスケードを活性化します。RAS-RAF-MEK-ERK、PI3 キナーゼ-AKT、PLC γ -PKC、STAT モジュールを含む少なくとも 4 つの主要な下流シグナル伝達カスケードを活性化します (PubMed:27153536)。NF- κ B シグナル伝達カスケードも活性化する可能性があります (PubMed:11116146)。また、RGS16 などの他のタンパク質を直接リン酸化して GTPase 活性を活性化し、EGF 受容体シグナル伝達を G タンパク質共役受容体シグナル伝達に共役させると考えられます (PubMed:11602604)。さらに、MUC1 をリン酸化して SRC および CTNNB1/ β -カテニンとの相互作用を増加させます (PubMed:11483589)。CCDC88A/GIV との相互作用を介して細胞遊走を正に制御します。CCDC88A/GIV はリガンド刺激後に EGFR を細胞膜に保持し、細胞遊走を誘発する EGFR シグナル伝達を促進します (PubMed:20462955)。学習および記憶能力の向上にも関与しています (類似性による)。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) H1975 細胞溶解物における EGFR (L858R) 発現のウエスタンブロット解析。